

実績報告

3 歳組・満 3 歳組

テーマ 【体操】 /

実施回数・期間 【週 4 回】

3 歳組・満 3 歳組人数	3 歳組 115 名 ・ 満 3 歳組 30 名	
活動内容	年間を通して、正課指導にて体操指導を受けた。体操を通して身体を動かす楽しさを伝え、元気いっぱい取り組めた。6 月、7 月は野外プールを行い、水慣れやワニ歩きのトンネルくぐりを行いプール大好きになりました。10 月運動会でかけっこを披露し、3 学期には体操参観にて 1 年間の成長を見てもらった。満 3 歳組はお部屋での体操でサーキット運動を中心に体を動かし楽しく取り組めた。	
活動チェック	✓	グループ単位での活動等により、乳児同士の対話、関りを促した。
	発達に応じて環境を工夫し、子供自ら好奇心、興味を持てるような環境を整え、声掛けを行った。	
活動チェック	✓	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ、写真、映像などで記録した。
	体操活動中の子供の様子は、お迎え時などに様子を伝えた。また、体操指導員と別に担任が様子を把握することで、体操活動中の様子を保護者に電話で伝えた。	
活動チェック	✓	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛けなどを行った。
	体操担当者を複数人配置した。	
活動チェック	✓	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。
	年間カリキュラムを体操指導員と担任と共有し、反省点を次回に繋げる事ができた。また、発達や天候によって調整を加えた。	
活動チェック	✓	幼稚園児等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。
	職員が毎日行う反省会での情報を共有し、担任が定期的に連絡をしている。 3 学期に 1 年の成長を見て頂く体操参観を行った。	
	✓	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。
活動チェック	毎週体操を行う事で、継続的な取り組みを行っている。	

実績報告

4 歳組

テーマ 【体操】

実施回数・期間 【週 4 回】

4 歳組人数	130 名	
活動内容	年間を通して、正課指導にて体操指導を受けた。体操を通して目標を持ち、達成することの楽しさを経験し、身体を動かしながら表現力を高めた。6 月、7 月は野外プールを行い、顔付け、潜る、浮く、能力に合わせて頑張った。10 月運動会でバルーンを披露し、協力することの大切さを学んだ。3 学期には体操参観にて 1 年間の成長、逆上がりを見てもらった。	
活動チェック	✓	グループ単位での活動等により、乳児同士の対話、関りを促した。
	発達に応じて環境を工夫し、子供自ら好奇心、興味を持てるような環境を整え、声掛けを行った。	
活動チェック	✓	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ、写真、映像などで記録した。
	体操活動中の子供の様子は、お迎え時などに様子を伝えた。また、体操指導員と別に担任が様子を把握することで、体操活動中の様子を保護者に電話で伝えた。	
活動チェック	✓	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛けなどを行った。
	体操担当者を複数人配置した。	
活動チェック	✓	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。
	年間カリキュラムを体操指導員と担任と共有し、反省点を次回に繋げる事ができた。また、発達や天候によって調整を加えた。	
活動チェック	✓	幼稚園児等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。
	職員が毎日行う反省会での情報を共有し、担任が定期的に連絡をしている。 3 学期に 1 年の成長を見て頂く体操参観を行った。	
	✓	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。
活動チェック	毎週体操を行う事で、継続的な取り組みを行っている。	

実績報告

5 歳組

テーマ 【体操】

実施回数・期間 【週 4 回】

5 歳組人数	153 名	
活動内容	年間を通して、正課指導にて体操指導を受けた。体操を通して諦めない、挑戦、できた喜び、悔しさを経験した。相手を思いやる優しい心を養えた。6 月、7 月は野外プールを行い、バタ足で 5m 泳ぐ事ができた。10 月運動会で組体操を披露し、心も身体も強く成長した。3 学期には体操参観にて 1 年間の成長を見てもらい、跳び箱の開脚跳び 6 段以上が全員跳べるようになった。	
活動チェック	☐	グループ単位での活動等により、乳児同士の対話、関りを促した。
	発達に応じて環境を工夫し、子供自ら好奇心、興味を持てるような環境を整え、声掛けを行った。	
活動チェック	☒	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ、写真、映像などで記録した。
	体操活動中の子供の様子は、お迎え時などに様子を伝えた。また、体操指導員と別に担任が様子を把握することで、体操活動中の様子を保護者に電話で伝えた。	
活動チェック	☒	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛けなどを行った。
	体操担当者を複数人配置した。	
活動チェック	☒	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。
	年間カリキュラムを体操指導員と担任と共有し、反省点を次回に繋げる事ができた。また、発達や天候によって調整を加えた。	
活動チェック	☒	幼稚園児等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。
	職員が毎日行う反省会での情報を共有し、担任が定期的に連絡をしている。 3 学期に 1 年の成長を見て頂く体操参観を行った。	
	☒	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。
活動チェック	毎週体操を行う事で、継続的な取り組みを行っている。	

実績報告書

満3才組担任・3才組担任

通常の保育活動とは異なり、体操を通じて体の動かし方を学ぶ様子が見られた。担任は普段の活動とは異なる子ども達の様子をじっくりと観察する事が出来た。教員が普段使うピアノによる音遊びや手遊びとは異なる方法でアプローチした事で、普段体を動かすことに興味がない子ども達が楽しんで活動に参加する様子は印象的だった。これらの様子を後日保護者に電話で伝え、一緒に子育てをする楽しさを共有する事が出来た。ストレッチ運動、プール活動、マット運動、跳び箱等を通して徐々に複雑な動きに挑戦していく子ども達の様子が見られ、継続的に成長していていると感じた。

4才組担任

年少児とは異なり、集団で同じ目標を持って取り組む様子や困難に挑戦していく様子が見られるようになった。満3才・年少組から継続して行ってきた事もあり、出来る範囲が広がり、子ども達自身も自信をつけているように感じられた。運動会のパルーンやリレーにてその姿を保護者に見せる事でより自信につながっているようだと感じた。活動の様子を定期的に保護者に伝えたり、また、家でもストレッチをしてもらったり、保護者も子育てに対してより積極的になっていると思った。

5才組担任

最終学年となり、今までの集大成として様々な活動に挑戦する子ども達の姿を見る事が出来た。鉄棒やプール、組体操、跳び箱、縄跳びなど年長組さんならではの高度な体操をすることで心身の発達が促される事はもちろん、出来ない子にも寄り添い、一緒になって挑戦してあげるような優しさも見られるようになった。体操指導がない日も子ども達が体操に興味を持つような環境を設定する事で遊びの一環として運動を促せていたと思う。3学期に実施した体操参観では全園児が跳び箱6段を飛ぶ事が出来、子ども達も自信に満ち溢れていたと感じた。また定期的に体操の様子を保護者と共有する事で、身体を動かす大切さを伝えられたと思う。

